

国立研究開発法人科学技術振興機構 令和5年度(2023年度)第1回契約監視委員会 議事要旨

開催日時：令和5年6月16日（金）13:30～15:20

開催方法：オンライン開催

委員：井上委員長、岩崎委員、奥委員、田中委員、中川委員 ※江上委員（欠）、白木澤委員（欠）

説明者：契約部長、契約調整課長、契約業務課長、研究契約室長、契約部関係者、

調達要求部署担当者

オブザーバー：石正内部監査役、監査部長

事務局：監査課長、監査課課員

○契約監視委員会規則第6条第2項の規定による構成委員の2分の1以上の出席を得ており、本委員会は成立していることを確認した。

【議事内容】

1. 令和4年度第3回契約監視委員会議事要旨確認

資料3に基づき、前回委員会（令和5年3月17日オンライン開催）の議事要旨の確認が行われた。

2. 令和4年度の契約状況及び自己点検結果等について

資料4、資料5-1、5-2に基づき、契約部より報告があった。また、委員より次のような意見があった。

（委員）関係法人による一者応札は実態がわかるような記載にしておいたほうがよい。一番関心のあるところなので、次回からは資料の中に項目をたてて、状況を把握できるようにしておいて頂きたい。

（JST）了解した。

3. 令和4年度調達等合理化計画の自己評価結果について

資料6に基づき、契約部より報告があった。

4. 令和5年度調達等合理化計画の策定について

資料7に基づき、契約部より説明があり、特に意見はなく承認された。

5. 個別契約案件（令和4年12月～令和5年3月）の点検について

資料8に基づき、事務局より個別点検案件の選定経緯の説明があった。

引き続き、資料9-1、2、3に基づき、点検候補選定基準により選定された3つの個別契約案件についての点検が行われた。主な質疑と応答は以下のとおり。

点検案件① 基幹業務データ連携フィジビリティ・スタディ

- (委員) 第4四半期に実施しているが、調達という観点からすると少し遅らせて他事業者が参加しやすい時期に実施するということとはできないのか？
- (JST) 予算が確保できた時点で実施しており、時期を後ろへずらすことは全体のスケジュールが後ろにずれこむことになり、難しい。今回年末にかかり時期的に厳しいかと思っただが、声かけした2者が対応できそうとのことでこの時期となったものである。
- (委員) 今回のフィジビリティ・スタディの次のステップで、新たに調達を行うことになるが、その調達では今回の事業者が有利になり、他事業者の参入は難しくなるのではないのか？
- (JST) そういった傾向はあるかもしれないが、データマネジメントが得意な事業者は他にもいるので、そういったところに積極的に声かけて健全な競争性の確保に務めたい。
- (委員) 4つのシステムを調査するということだが、それぞれ違う事業者が作ったのか？また、システムのサイクルはどの位の期間なのか？
- (JST) システムは4つとも異なる事業者が作成した。システムサイクルは5～6年というのが一般的である。
- (委員) バラバラではなく、全体を上手くつなげるようにシステムを作る必要がある。
- (JST) 助言、承知した。
- (委員) 落札率が高いが予定価格はどのように作っているのか？
- (JST) 提案書提出時の参考見積書を参考にして、一定の基準に基づき算定し、作成している。
- (委員) 調達の際に、4つのシステムを使ってこういう事ができるようなデータ構築を依頼するといった仕様はできないのか？発注者側が具体的な目標を示さないと、中途半端な結果となり、再度同じ事を依頼するといった2度手間になり、予算が新たに必要となる。調達の契約方式だけではなく、調達の仕方も工夫した方がよい。
- (JST) 今回は広くデータを活用できるような基盤を作るにはどうしたらいいかという観点で仕様を作っている。ご指摘頂いた点については、十分気をつけていきたい。

点検案件② 次期グループウェアの意見招請用仕様書案および関連資料作成

- (委員) 専門性の高い業務となるため、外注することは分かるが、今回の仕様書でベンダーから提出される価格面が適正かどうかのチェックは行うのか？IT製作のかかなりの部分を外注に頼っているので、仕様だけではなく価格面も評価することが重要である。
- (JST) 複数のパターンで、入札価格とまではいかないが、標準価格として金額も出してもらって比較している。
- (委員) 業務要件の中で一般的な機能が記載されているが、これ以外でJSTが独自に求める機能はあるのか？
- (JST) 組織管理については、組織体系などが複雑で市販の標準パッケージではカバーできず、カスタマイズが必要となる。しかし、それ以外は一般的なものである。
- (委員) 仕様書作成を依頼するのではなく、自分たちで仕様書を作って調達をかけることはできないのか？

(JST) ゼロトラストアーキテクチャーという調達内容が初めてのことであり、自分たちだけのノウハウでは難しく、システム導入にあたっては専門性が高く、最新の技術進歩にも対応できるような事業者を選定する必要があり、そのために必要な内容の仕様書作成を依頼するものである。

(委員) 調達をかけた時期が繁忙期で、そのことが一者応札となってしまった理由ではないか？

(JST) 次のリプレースの時期が決まっており、そこから逆算してスケジュールを組んだ結果、この時期の調達となったものである。

点検案件③ 日本科学未来館 AI スーツケース定常運用版の製作

(委員) 本件は落札率が 100%となっている。入札時に 1 回で落札しているが、たまたま金額が一致したということか？

(JST) 予定価格作成に際し、参考見積書の内訳についてヒアリングしたり、市場価格等との比較を行い、その内容の妥当性を確認しており、予定価格は適切である。

(委員) JST でも見積書の内容を綿密に調べ、検討した結果、落札率が 100%となったということで理解した。

(JST) そのとおりである。

(委員) 関連する資料を閲覧したが、AI スーツケースコンソーシアムというものがあり、そこには、有名な大きな会社がいくつも参加しているが、この製品を作れるのはこの一社だけなのか？

(JST) 社会普及の観点から、AI スーツケースの内部プログラムやハードウェアの設計図等は公開されており、技術力を伴う社であれば製作できるようにされている。そのため、単純な技術力だけで考えればこの製品を製作できるのは特定の者には限られないものと認識している。なお、当該コンソーシアムでは参画する各社がそれぞれの得意分野での技術力を持ち寄って開発を進めることで、技術開発を効率的に進めるかたちで事業に取り組んでいる。

(委員) 調達という観点では今回一者応札、こういった製品が作れるのが何者あるか分からないが、もう少し広めに声かけて頂きたい。

(JST) 今回も声かけを行ったが、引き続き声かけをしていく。

6. その他

資料 8 に基づき、事務局より①委員会の年間開催回数の変更について、②今後の委員会の開催形態について説明があり、特に意見はなく了承された。

以 上

○ 配付資料

資料 1	契約監視委員会 委員名簿
資料 2	契約監視委員会規則
資料 3	議事要旨（令和 4 年度第 3 回契約監視委員会）
資料 4	令和 4 年度の契約状況について
資料 5 - 1	令和 4 年度契約の自己点検結果等について
資料 5 - 1 別紙	公益法人への支出に関する見直しの状況
資料 5 - 2	点検項目表（自己点検・チェック用）
資料 6	令和 4 年度調達等合理化計画自己評価結果（公表資料案）
資料 7	令和 5 年度調達等合理化計画（案）
資料 8	個別点検案件の選定経緯等
資料 9 - 1	点検案件①
資料 9 - 2	点検案件②
資料 9 - 3	点検案件③
参考	web 会議イメージ